


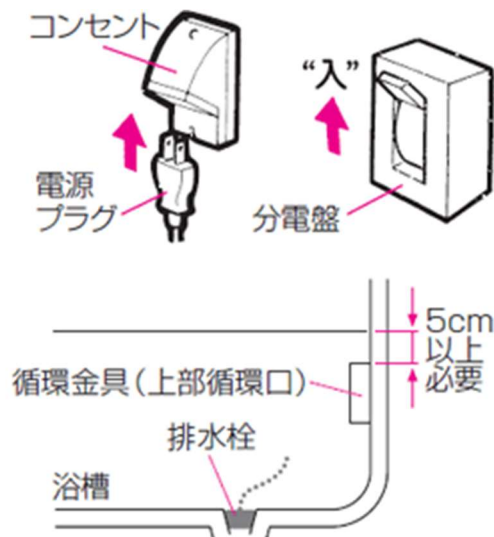
◎ 給湯器の凍結防止対策

予防策 1 凍結予防ヒータと自動ポンプ運転による方法



外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータ（給湯側）と自動ポンプ運転装置（ふろ側）が組み込まれています。

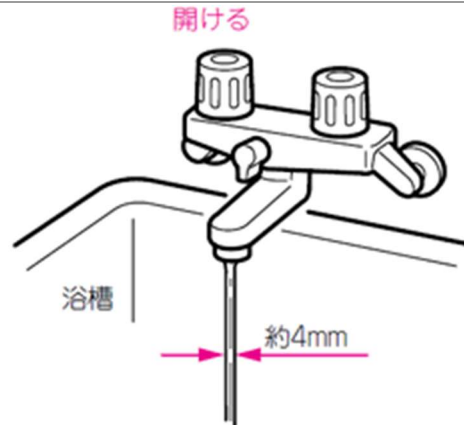
自動ポンプ運転を開始すると、各リモコンの表示画面に浴室リモコンは「」表示が、台所・増設リモコンには「凍結予防」表示が出ます。



■ お客様に行っていただきたいこと

- 1. 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
※抜けているとヒータ・ポンプとも作動しませんのでご注意ください。
- 2. 浴槽の残り湯が循環金具より 5cm 以上、上にある状態にしておいてください。
※機器が外気温を感知し、自動的にポンプ運転を行います。

予防策 2 給湯栓から水を流す方法



■ 操作のしかた

- リモコンの運転スイッチを『切』にします。
- 浴槽に排水栓をしてからおふろの給湯栓を開け、1分間に約 400 ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。
- ※この場合、浴槽から水があふれることがあります。
- ※サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。
- ※浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。
- ※シャワーから水を流す場合、シャワーヘッドは浴槽にたまった水につかない位置に置いてください。

【ご注意】

- 水量が不安定なことがあります。念のため、30分ぐらい後にもう一度水量をご確認ください。
- サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。